

弾道ミサイル発射に係るJアラート等を通じた緊急情報発信時の対応例

兵庫県教育委員会

	緊急情報発信時	発令後の対応	安全の確認方法
児童生徒が在宅中	・自宅待機	・安全の確保が確認できるまで自宅待機 ・安全の確保が確認できれば登校	テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努め、安全の確保等について確認 (確認事項の例) ・ミサイルの飛翔方向、着弾場所 ・ミサイルの着弾や落下物の有無 ・学校、通学路等の被害の有無 等
児童生徒が登下校中	・下記の行動例に基づき行動 ・公共交通機関乗車中等については当該機関の指示による	・安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機 ・安全の確保が確認できれば登下校	
児童生徒が在校中	・下記の行動例を参考とした、危機管理マニュアルに基づいた対応	・安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機 ・安全の確保が確認できれば授業を再開、場合によっては下校	

<ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例>

活動場所の別	とるべき行動の例
屋外にいる場合	・近くのできるだけ <u>建物の中</u> 、又は <u>地下</u> などに避難する。 ・近くに適切な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。
屋内にいる場合	・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。